



代表取締役
金田政太

浜通り復興に
向けたメッセージ

世界にも類を見ない海洋に特化したUAV技術を福島県浜通り地域から発信してまいります。

UAVを用いた即応海洋観測・監視プラットフォームの実用化開発

海洋観測・監視市場における情報不足を解決する無人化技術の実用化に挑む

四方を海に囲まれた日本。海に関連する課題は産業利用の推進、由来する自然災害、環境の維持保全と複雑化・広域化しています。これらの課題に対応すべく、UAVを用いた即応海洋観測・監視プラットフォームの実用化開発を目指します。

開発背景

海洋を取り巻く社会的課題は複雑化・広域化しています。海洋状況把握には情報収集にかかるコスト削減を目指した無人化・省人化の取り組みが進んでいるが即応性の面で技術的課題があり、UAVを用いた技術の実用化により解決を図ります。

実用化開発の目標

実用化時期	令和5年度(2023年度)
販売製品・サービス名	UAVを用いた即応海洋観測・監視プラットフォーム
成果物(最終年度)	UAVを用いた即応海洋観測・監視プラットフォームの構築
創出される経済効果	南相馬市の地元企業と連携したプラットフォーム製造及びサービス提供拠点整備による地元企業の売上と地元雇用の拡大

開発のポイント

要素技術	<ul style="list-style-type: none"> クラウドを用いたリアルタイム情報提供技術 UAV(飛行艇型)を用いた観測・監視技術 多様な観測機器に対応したペイロードベイ技術
開発のポイント	従来のシステムでは困難だった必要な時、必要な場所での海洋観測・監視について、本開発プラットフォームを用いることで高い即応性かつ低コストで実現できます。

実施期間	2021~2023年
実用化開発場所	南相馬市
連携自治体	南相馬市

浜通り地域への経済波及効果

新規雇用人数:4名(うち地元雇用者1名)
新規雇用予定数:26名(うち地元雇用者16名)
拠点立地件数:工場を増設1件(南相馬市)
地元企業との連携(資材調達面):機体部品を地元企業5社より調達

これまでに得られた成果

本年度までに得られた成果品・試作品:
・観測・監視用 UAV(飛行艇型)のプロトタイプモデル等
メディア露出や受賞歴
メディア|日経新聞「海面飛び立つドローン、南相馬沖で試験」他 講演・出張授業|高校や職業能力開発校等で多数
代表的な企業との連携実績:
東京大学・横浜国立大学と深海底探査実験を実施

株式会社スペースエンターテインメントラボラトリー

福島県南相馬市原町区萱浜巢掛場45番地245
南相馬市産業創造センター A 棟工場区画2
☎ 0244-26-6208 (担当:金田政太)
✉ masata.kaneda@selab.jp

投資規模	1~5億円
開発人数	10名未満
販売時期	令和6年度(2024年度)
販売形態	UAVを用いた即応海洋観測・監視プラットフォームサービスの提供
販売見込先	5社
協業希望先	海洋調査企業、洋上にインフラを持つ企業

